

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
0 建築物の環境品質								3.2
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音								
	1 暗騒音レベル			3.0				
	2 設備騒音対策							
1.2 遮音								
	1 開口部遮音性能			3.0				
	2 界壁遮音性能			3.0				
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	3.0		3.0				
	4 界床遮音性能(重量衝撃源)	3.0		3.0				
1.3 吸音				3.0				
2 温熱環境								
2.1 室温制御								
	1 室温設定			3.0				
	2 負荷変動・追従制御性							
	3 外皮性能			3.0				
	4 ゾーン別制御性			3.0				
	5 温度・湿度制御							
	6 個別制御							
	7 時間外空調に対する配慮							
	8 監視システム							
2.2 湿度制御				3.0				
2.3 空調方式				3.0				
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
	1 昼光率			3.0				
	2 方位別開口	3.0		3.0				
	3 昼光利用設備			3.0				
3.2 グレア対策								
	1 照明器具のグレア							
	2 昼光制御			3.0				
3.3 照度								
	1 照度			3.0				
	2 照度均斉度							
3.4 照明制御				3.0				
4 空気環境								
4.1 発生源対策								
	1 化学汚染物質			3.0				
	2 アスベスト対策							
	3 ダニ・カビ等							
	4 レジオネラ対策							
4.2 換気								
	1 換気量			3.0				
	2 自然換気性能			3.0				
	3 取り入れ外気への配慮			3.0				
	4 給気計画							
4.3 運用管理								
	1 CO ₂ の監視							
	2 喫煙の制御							
Q2 サービス性能			0.43					3.7
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ								
	1 広さ・収納性			3.0				
	2 高度情報通信設備対応			3.0				
	3 バリアフリー計画			3.0				
1.2 心理性・快適性								
	1 広さ感・景観			3.0				
	2 リフレッシュスペース			3.0				
	3 内装計画			3.0				
1.3 維持管理								
	1 維持管理に配慮した設計	3.0						
	2 維持管理用機能の確保	3.0						
2 耐用性・信頼性			0.52					3.2
2.1 耐震・免震			0.48					
	1 耐震性	3.0	0.80					
	2 免震・制振性能	3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数			0.33					
	1 躯体材料の耐用年数	3.0	0.23					
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	2.0	0.23					
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	5.0	0.09					
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔	3.0	0.08					
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔	5.0	0.15					
	6 主要設備機器の更新必要間隔	3.0	0.23					

2.3 適切な更新			-	-	-	-	
2.4 信頼性			3.6	0.19	-	-	
1	空調・換気設備	吊配管、無停電電源装置の採用	4.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備	無停電電源装置の採用、地下への設置無	4.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法	重要機器Sクラス、一般機器Aクラス	4.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			4.2	0.48	-	-	4.2
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	作業室は2フロア吹抜で3.9m以上	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.06	5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		積載荷重4500N/m ² 以上	5.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.1
1 建物の熱負荷抑制			3.0	-	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.29	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		ERR=9.5	3.0	0.43	-	-	3.0
4 効率的運用			3.5	0.29	-	-	3.5
4.1	モニタリング	中央監視装置の採用	4.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.63	-	-	3.1
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生クラッシュアラン、建設汚泥再生処理土	4.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	-	3.2
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.68	-	-	
1	消火剤	ハロン消火剤の使用無	4.0	0.33	-	-	
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO ₂ 排出量が98%	3.1	0.33	-	-	3.1
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1	大気汚染防止	燃焼機器の使用無	5.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告塔照明の設置無	4.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	